

ニュージーランド おもしろ旅行、手記！

浜松市 岩田 達志

私たち夫婦は、今年度結婚25周年になりました。これを機会に海外旅行を計画し、そして、かねてより行ってみたいと思っていたニュージーランドに行くことができました。

私たちが、旅行先をニュージーランドに選んだのは、次のような条件を満たしていると思ったからです。

- 1 自然の中を歩いて楽しむ場所があること(二人ともハイキングが好き)
- 2 食事や生水に、特に注意が必要としない場所であること(胃腸が頑丈ではないので)
- 3 英語が使える国であること(せっかく習っている英会話を試してみたい)

最初は、格安航空券を買って2~3日分のホテルを予約し、レンタカーを借りてまわってみたいとも思いましたが、旅行の日程が決まったのが出発の3週間前であったためS〇〇〇航空は満席で、N〇〇〇〇航空は、空席があるが20万円という回答でした(H〇まるより)。それでは格安なツアーはないかと、探したところJT〇でベーシックなツアーで、朝食昼食各1食のみ付きでニュージーランド航空利用26万円というものがあり、空席があったためこれに決めました。

ツアーは、良い点、悪い点それぞれあり、今回も両方の面を体験しました。

- 1 良い点は、ツアーを通じて多くの情報が得られるため、自分だけで計画していたら見過ごしたであろうことも体験できるということ。例えば今回ワナカという小さなリゾート地に泊まりましたが、気持ちの良い自然に囲まれた気に入った町でしたが、多分、自分で立てた計画では泊まることはなかったとおもいます。そこからクイーンズタウンへ行く間にアロータウンという町に寄りましたがここも山間の小さな良い町でした。
- 2 悪い点は、なんといっても時間に縛られてしまうということです。マウントクックへ行ったときせっかくの上天気で、山もきれいに見えるのに昼食時間も入れて2時間弱の自由時間しかないというのは大きなフラストレーションになりました。皮肉にもこの昼食がハーミテージホテルの豪華なビュッフェ形式の昼食でした。

行程は、8日間の日程で南島を回る典型的なコースでした。2月16日出発2月23日帰国しました。

クライストチャーチ2泊 - マウントクックを見てワナカ泊 - クイーンズタウン2泊(1日はミルフォードサウンド観光) - オークランド泊 - 帰国

今思い出しても、どの場所も、都会は都会の良さがあり、地方は地方の自然に囲まれた良さがあり、すべて良い印象が残っています。次回は、訪問地をしぼって回ろうと思いますが、省略すべき場所が無く、また同じルートをとってしまいそうです。

今回特に印象に残った場所を、行程順に感想を書いてみます。

1 クライストチャーチ

美しい庭園を持った邸宅、町をうねって流れるエイボン川。公園都市というのはこういう都市のことだと思いました。私たちが着いたときは、ちょうどThe International Garden City Of Flowers の開催期間中であったので、いくつかのイベントを見ることができました。

(日) 大聖堂の中のフラワーカーペットとフラワーアレンジメント

花をカーペットにするというのは日本人には無い感覚だと思います。
フラワーアレンジメントはとにかく豪華な印象でした。



(月) ガーデニング ツアー

ガーデニングコンテストの受賞者の庭を見てまわるオフィシャルツアーに参加しました。

手入れが行き届いた美しい庭は、すばらしいの一語 3軒見た中で1軒のお宅では、日本式の庭園を取り入れていました。また、どこへ行っても椿、アジサイ、桜、など日本原産の草花があり、もし、日本でガーデニングフェスティバルをやるとしたら、最も外国人が期待するのは、伝統的な日本庭園であり、日本原産の植物であると思 いました。

2 マウントクック

天気が良く、遠くに雪を頂いた雄姿が見えました。この地区のハーミテージホテルでビュッフェ形式の食事をしましたが、非常に豪華な食事でした、ツアーのため十分な時間が無く大急ぎで食事をしマウントクックへ少しでも近づいてみたいと片道30分ほどでしたが歩きました。ここは、次回ぜひ訪問したいところです。ハーミテージホテルにも泊ってみたいけど、確か1泊300ドルを超える宿泊費は、破格の値段だと思えますが、今の1NZドル=60円の為替レートであれば充分可能性は有りそうな感じです。



3 ワナカ

この旅行がツアーであったため指定された宿泊地でした。自分たちでは計画しなかったであろう宿泊地でしたが、実に気持ちの良いリゾート地でした。ツアーガイドの言う「ニュージーランドに人気のあるリゾート地」であるという説明がわかる気がしました。

マウントクックを後にして、乾燥した地域を走って行くと、ガイドの引継ぎのため小さな土産物屋の前でバスから降ろされました。いかにも田舎に来たという実に良い雰囲気でした。そこから今度は、エコノミークラスのツアー客4人を乗せたトヨタのワゴン車がワナカ目指して突っ走ります。

途中、水量のたっぷりある川を渡り湖畔の小さな町に着きました。目の前の湖は、岸辺にポプラなどの巨木があり、湖の中に大きな島があるのが見えます。ホテルは町から少しはずれた湖畔に建つきれいなリゾートホテルでした。ここでは、着いた日は、町をぶらぶらして、1つだけあるスーパーマーケットで買い物をしたり(外国のスーパーマーケットを見て歩くのは、旅行の楽しさの一つであると思えます。)夕食

を
したりで終わり、翌日も出発まで湖畔を散歩したりしてのんびり快適に過ごしまし
た。



4 クイーンズタウン

ワナカとは違い、ずっと都会的なリゾート地でした。レストランも沢山あるし、こ
ちらはこちらの良さがある、うーん良い町です。今夜の食事は、チャイニーズレス
トランにしましょう。女房は、オポッサムの毛が入ったウールのベストを買ってご機
嫌のようです。

こちらは、緯度が高いせいか、夜9時になっても薄明かりが残っています。ワカ
ティブ湖畔では、この夕暮れの中で、バグパイプの演奏を聴くことが出来ました。自
分の好きな、アメイジング・グレイスの曲が聴けた時は、本当に感激しました。目の
前の湖の水が透明でゴミ一つ無いのは気持ちが良いものです。



5 ミルフォードサウンド

今日は、絶好の天気の下、バスに乗って1日かけて、ミルフォードサウンドまで
行って来るわけです。帰りは、飛行機に乗れたら変更して欲しいと、依頼は、出して
おきましたが、うまく行きますかどうか。

バスは、途中で、テアナウのホテルで休憩をとりました。1人5ドルで軽食をとる
ことができます。ちょうどとなりの席に来たおばあちゃんに、話かけてみたら、ス
コットランドから20時間かけて来たそうです。こちらの食べ物は、どうですかと聞
いてみたら、母国と非常に似ていて、快適ですとのこと。なるほど目の前の軽食は、



クッキーとスコーンにバターとジャムが
たっぷり付いて、飲み物は紅茶でした。
ミルフォードサウンドは、氷河が削った巨
大な岩山、船の上に飛沫をかける圧倒
的に大きな滝等、想像以上にスケール
が大きく、見るものがめずらしく、楽しい
ツアーでした。自分は、特に、羊歯の大
きな木が生えた林の前に、アザラシが岩
の上で寝ているという風景が珍しいと思
いました。

次回は、是非、ミルフォードトラックのような羊歯の中の道を歩くというルート
をたどってみたいと思いました。

帰りは、風が強くなってしまい飛行機に乗ることはできませんでした。

6 オークランド

旅行の最終日になってしまいました。さすがにニュージーランド1の大都会です。高速道路がそれらしい形をしています。ここもおもしろそうな街です。

女房は、パーネルストリートが気に入って、英国製の生地を扱う店を見つけて、ほんの少しですが買って満足しています。為替レートの関係か、輸入品はかなり高いですね。私は、キーウイ鳥が見たくて動物園へ行きました。24時間中20時間寝ているといわれる愛すべき鳥ですから、はたして会えるかと思いましたが、夜モードになったガラスの檻の前で10分ほど待っていたら、2羽がじゃれあうようにして、土中の餌をつつきながら動いているのが見えました。想像していたより大きく、鶏ぐらゐの大きさのようです。動きも結構活発な感じでした。Free as a bird という言葉がありますがこの鳥にも当てはめて良いのでしょうか。

夕食は、海が見えるレストランでシーフードと行きましょう。量はたっぷり、味はgoodでした。



港で、アメリカズカップ勝利艇を見ました。この国の人は仕事も遊びもしっかりやっていると思います。艇が繫留してあるすぐとなりで、漕ぎ手を十数人乗せたボートでドラゴンレガッタをやっていました。本当は、終わり行く夏の夕方を、レガッタの結果を肴にビールを飲みながら、ワイワイやるという風情でしたが、きょうはあいにく雨もようで、少し寒いのが惜しいという感じでした。ホテルへの帰りがけ何やら、バーが賑やかなのは、きょうがプロラグビー試合のオープニングデーでした。私も、ホテルで観戦いたしましょう。